

まちづくり委員会 事業計画

まちづくり委員会 委員長 大泉 渉

少子高齢化や都市機能の郊外移転による中心市街地の衰退が問題となる現代において、これからの都市づくりは時代の変化に対応したコンパクトな都市構造への転換が求められています。歴史や芸術、文化など多くの地域資源が集まる中心市街地はまちの顔であり、イメージにも直結し、中心市街地の魅力の高まりが多くの人々を惹きつける要因となることから、中心市街地が活性化されたコンパクトなまちづくりを進めていく必要があります。

まずは、地域住民に魅力を感じていただける効果的な運動構築をするために、新春賀詞交歓会で本年度体制や運動指針、我々の想いを発信し、誠実な心でおもてなしをすることで、諸先輩方を始め行政や関係諸団体、友好LOMの皆様と信頼関係が深まり、今後の運動に繋がる協力関係が確立されます。そして、大洗町において地域資源を活かした共創によるまちづくりを実現するために、海などの魅力的な地域資源の利活用や歴史や文化的背景の掘り起こし、地域企業や人々と相互連携によるまちづくりを行うことで、地域住民が持続的に経済と文化を活性化させることができるまちが実現されます。さらに、幅広い世代の方に新たな視点でまちの魅力を感じてもらうために、リアル体験にデジタルを活用して新たな価値を加えた体験型イベントを開催することで、地元に対する愛着や誇りが育まれます。また、水戸駅周辺を多様な人々が集う魅力的な中心市街地とするために、政策提言にあたり幅広い世代から意見を収集し、提言内容の実現に向けた話し合いを行政と密に連携を取ることで、実効性のある政策提言のもと賑わいのある中心市街地が実現されます。

交流人口や定住人口が増加するとともに、賑わいが取り戻された魅力的な中心市街地は多くの人々を惹きつけ、幅広い世代が生き生きと暮らしていける地域は活力に満ち溢れ成長や発展に繋がり、安心して住み続けたいと思えるような持続可能なまちが実現されます。

<事業計画>

1. 信頼関係を一層強固にする新春賀詞交歓会の開催
2. 相互連携による地域全体でのまちづくり事業の開催
3. デジタルを活用した事業の開催
4. 観光資源の有効活用に向けた政策提言の実施